

第 54 回テーマ

未来を語れる社会を！

今月からサッカーワールドカップが始まった。日本の前評判は非常に悪く、国内でも盛り上がりにかけていたが、第 1 戦目を勝利し、多くのマスコミもニュースを取り上げて注目度が増している。このまま第 3 戦まで期待感は持続するだろうし、さらに決勝トーナメントまで進出すれば、大きな経済効果が生まれるのではなかろうか？

以前から指摘している通り、日本人はとても「ムード」に弱い。政治の話題でも経済の話題でも、マスコミなどが取り上げるニュース等により一気に消費も乱高下するケースがほとんどである。もちろん、インターネット等、多様なメディアが育ってきている事もあり、価値観も変容しているが、まだまだ「画一的な行動パターン」を取るケースも多いと思われる。今回のワールドカップ関連のニュースは久しぶりの明るい話題でもあり、このまま景気が持続し、向上すれば良いのだが...と切に願っている。

もう一つ気になるニュースが参議院選挙だ。いきなり消費税論議が持ち上がり、10%を公約に入れるか？否か？というニュースが日々報道されている。この景気の悪い中で消費税率が論議され、それを公約に入れるという事は、逆にみれば、それだけ緊急的に対応しなければマズイという警鐘なのだろう。無論、ただ「増税する」というだけでは納得しない。やはり説明責任が必要だろうし、説明するシーンや意思決定のプロセス、正しい情報開示と現状の問題点等、しっかり行うべきだ。しかも一般の人がわかりやすいように。

そこがショートカットされるから、国民は納得いかないのだと思う。ニュースでは、その部分を切り込んで取材や番組を構成しているが、ムードを盛り上げる施策は一向にない。ネガティブな事実ではなく、明るい兆しが見える「対策」についてももっと報じられるべきであろう。その方が前向きだ。

政治も、もっと未来が語れるような、前向きなニュースや議論というのが必要なのではなかろうか？サッカーはスポーツで、しかも今回は勝利した事で注目度が上がったものの、政治もきっかけ一つで「明るい話題」を提供できるはずだ。その部分に期待したい。